

JFA第49回全日本 U-12サッカー選手権大会 審判インストラクター研修 報告書

## 1. 研修概要

- ① 期 間：2025年 12月 25 日(木)～28日(日)
- ② 開催地：鹿児島ふれあいスポーツランド、鹿児島県立サッカー・ラグビー場（鹿児島県鹿児島市）
- ③ 参加者：○ユース審判員（32名） 北海道：鈴木 陽和 氏、高久 誠弘 氏 （オホーツク地区）  
○地域インストラクター（16名） 北海道：工藤 尚 氏、岸本 拓洋 氏、大石かおり  
○JFA インストラクター 古曽部 統太郎 氏、佐藤 ゆみ 氏、西野 照美 氏、和角 敏之 氏  
○JFA 高橋 武良 氏、名木 利幸 氏  
○JFA 事務局 村山 一平 氏
- ④ 審判員大会テーマ：サッカーの「4局面」と「球際」を理解したレフェリング

## 2. 日程

- ① 11月12日(水) 20:00～21:30 事前研修会① zoom
- ② 12月10日(水) 20:00～21:30 事前研修会② zoom
- ③ 12月25日(木) 17:00～18:00 指導者打ち合わせ  
20:00～21:00 指導者研修会  
21:00～21:30 全体会
- ④ 12月26日(金) 9:30～ 1次ラウンド（各ピッチ6試合）  
19:30～20:00 指導者研修会  
20:00～21:00 全体会
- ⑤ 12月27日(土) 9:30～ 1次ラウンド（各ピッチ3試合）  
13:15～ フレンドリーマッチ（各ピッチ2試合）  
15:15～ ラウンド16（各ピッチ1試合）  
19:30～21:00 指導者研修会
- ⑥ 12月28日(日) 各自解散  
(フレンドリーマッチ予定が、審判員体調不良者増のため、審判員派遣中止のため)



チーム北海道

## 3. 研修内容

- ① 11月12日(水) 事前研修会①：高橋 武良 氏・山崎 裕彦 氏・村山 一平 氏  
移動・大会についての説明、地域インストラクターの大会での役割について
- ② 12月10日(水) 事前研修会②：高橋 武良 氏・山崎 裕彦 氏・村山 一平 氏  
審判員のレベルアップのために、INSの役割、試合で「みる」ポイント、試合後のフィードバック、大会について
- ③ 12月25日(木) 指導者打ち合わせ・研修会：高橋 武良 氏  
模擬フィードバック（事前課題映像で、3人1組で実施）  
地域審判指導者の役割
  - ・ほめる→やりたいという気持ちにさせる。
  - ・スモールプラクティカルも可。
  - ・次の試合で何を頑張るか。審判員に言わせる。
- ④ 12月26日(金) 指導者研修会：高橋 武良 氏  
今日の試合での共有事項  
選手の力を引き出すレフェリングをさせる魔法の言葉（明日できること）  
4グループでディスカッション
  - 「走る」にこだわりすぎて距離が近いので、角度を取れるように
  - ・アドバンテージをかけるために何を見るか
  - ・ボールの出し手と受け手とレフェリーで三角形を作る
  - ・ハーフタイムに戻ってくると、そうでもないのに「ダメだ」と言う → できているところを認めてあげる地元に戻ってやってほしいこと
  - ・審判員を試合にマッチさせる。そのためにどんなサポートができるか。
  - ・ファウルを見つけにいく（1つ1つの事象を追いかけていく）探すレフェリーになってしまっただめ
  - ・レフェリーはファウルを探していたか？リズムを崩さないようにしていたか？



地域インストラクター

#### ④ 12月27日（土）指導者研修会：高橋 武良 氏

「地元に戻って、次に来る審判員をどうするか」「地域や都道府県にどう還元するか」「裾野の審判員にどう伝えるか」

#### 4グループでディスカッション

→・仲間作りが大切

- ・中学生年代からの育成
- ・1本釣りとのつながり。審判を身近に感じる工夫

1人審判をできることを目標にするのか？

- ・3審制もオフサイドの判断は主審。3人でやっていることで副審だけ抜くと考える。そう考えると練習の場は色々ある
- ・1人審判は難しいが、やることで確実に力量が上がる
- ・伸びる材料を地元で与えてほしい



#### 4. 担当試合

#### D グループ

D グループ 審判員：高橋 優豪 氏（宮城）、加藤 幹也 氏（茨城）、工藤 海人 氏（大阪）、堤 翔世 氏（福岡）  
審判指導者：児玉 邦裕 氏（静岡）、大石かおり（北海道）

12月26日（水）

マッチ No. 4 アスラン FC - ツエーゲン金沢

主審 高橋 優豪 氏、補助審判 工藤 海人 氏

マッチ No.20 サガン鳥栖 - 川崎フロンターレ

主審 工藤 海人 氏、補助審判 高橋 優豪 氏

マッチ No.28 ディアブロッサ高田 FC - モンテディオ山形庄内

主審 堤 翔世 氏、補助審判 加藤 幹也 氏

12月27日（木）

マッチ No.69 FC リバース - 北海道コンサドーレ札幌

主審 堤 翔世 氏、補助審判 高橋 優豪 氏

マッチ No.F5 FC 高知横内 - アスラン FC

主審 加藤 幹也 氏、補助審判 工藤 海人 氏

マッチ No.77 レジスタ FC - ジョガボーラ柏崎

主審 工藤 海人 氏、補助審判 高橋 優豪 氏

#### ○JFA インストラクターより（フィードバックについて）

・佐藤ゆみ INS

マッチ No. 4 どうしたらいいか、何をみたらいいか、受け手の位置や走るコースなど、言葉を足すと良い

マッチ No.20 （笛のアドバイスに対し）実際に吹かせてみてもよいのでは。ADV の事象について説明させたのは良かった。GK の負傷について審判員に聞かれた時、答えではなく問い直しをした方が良い。

・西野照美 INS

マッチ No.28 審判員が覚えきれないので、言いたいことを凝縮。シーンをもっとイメージさせたい。

#### 5. 最後に

このような大きな大会で、あまり指導経験のない1人制審判ということで、不安しかない状態での参加でした。北海道から参加した審判員2名が普段から関わっているユース審判員であったこと、一緒に参加する工藤INS・岸本INSと、現地での古曾部1級INSの安心感、そして参加決定直後から様々なサポートをしていただいた育成部の靑山INSの情報には大変助けられました。

初日の全体会でのユース審判員の目の輝きや積極的に発言する姿に頼もしさを感じました。この大きな大会でも物怖じせず、毅然としたレフェリングの中にも子供たちへの優しさを感じ、3試合で劇的に変わる様子にも驚きました。このような若い伸び盛りの審判員を育てて行く責任と、どのように何をアドバイスするのかという難しさを改めて感じました。今回学んだことを少しずつ還元していきたいと思います。

北海道は一ヶ月以上前からサッカーシーズンが終わったこの時期に、素晴らしい天然芝でサッカーができるという環境の違いにも考えさせられました。これをハンデとせずサッカーに関わるにはどのようなことができるか、今まで以上に探していく必要があると思います。

最後に、JFA審判委員会の皆様をはじめ、鹿児島県サッカー協会審判委員会、大会運営の方々、参加審判員のみなさん、そして、推薦していただきました（公財）北海道サッカー協会審判委員会に感謝申し上げます。

